

下京のひびき

市民しんぶん下京区版

12・15

推計人口	男	女
75,957人	35,024人	40,933人
世帯数	39,898世帯	

(平成19年11月1日現在)

12月15日～31日

年末防火運動を実施

下京区の今年の火災発生件数は11件であり、昨年の同時期と比べて7件減少しています(11月27日現在)。火災原因別に見ると放火などの不審火が減少しており、各学区における防火の見回りや放火されない環境づくりの取組の効果が現れているのではないだろうか。

一方、区内で6名の方が火災により死亡され、昨年から5名増加しています。これは、昭和52年の火災による年間死亡者数5名を上回る過去最多の数です。亡くなられた方ほとんどは65歳以上の高齢者であることから、下京消防署では高齢者を火災から守る取組に全力を挙げています。

これから本格的な寒い季節を迎え、ストーブなどの火気を使用する機会が増えます。また、年の瀬を迎えるこの時期は慌ただしくなり、うっかりミスによる火災が起きることがあります。悲惨な結果をもたらす火災を防ぐため、火の取り扱いには十分気をつけるとともに、火災に対する備えをしつかりとしておきましょう。

(問) 下京消防署
(☎) 361・4411



10月28日に行われた下京区総合防災訓練での下京消防署と下京消防団による一斉放水

一年を終える今こそ

火の用心

12月20日～31日

消防団年末特別警戒を実施



夜間防火パトロールに向かう尚徳消防分団

下京消防団では、防火の呼び掛けや不審火などを防ぐ「消防団年末特別警戒」を実施します。火災をなくし、区民の皆さんが安心・安全な年の瀬と新年を迎えられるよう、下京消防署と連携して、団員一丸となって活動します。

下京区災害ボランティアセンター覚書を締結

10月28日、下京区総合防災訓練が行われた会場において、下京区役所と下京区社会福祉協議会との間で、災害時にボランティア活動の拠点となる「下京区災害ボランティアセンター」の設置及び運営についての基本的な事項をまとめた「覚書」を締結しました。

同センターは、災害が発生し多数のボランティアによる支援の必要が見込まれるときに設置され、被災者の要望を把握するとともにボランティアの受け入れ及び支援活動のコーディネートを行います。



覚書に署名する神谷下京区長(左)と渡邊洞崎下京区社会福祉協議会長(右)

であいふれあい町衆のまち
いきいき下京

下京区役所ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/shimogyo/>

市政情報総合案内コールセンター

京都いつでもコール

午前8時～午後9時

市への問い合わせに年中無休でお答えします。

電話 661-3755 FAX 661-5855

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/mc/>